

## 事務事業評価シート

評価対象年度 平成 21 年度

## 【事務事業の基本的事項】

事務事業名	西明寺中学校グラウンド建設事業					
担当課係名	教育総務	課	管理	係	作成者 草薨雅人	
総合計画での位置づけ	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち			総合計画のページ	
	基本計画	学校教育の充実と教育環境の整備				
	主要施策	学校施設の整備			93	
予算費目	一般	会計	10 款	教育費	3 項 中学校費	1 目 学校管理費
事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 22 年度		新規/継続の区分		継続	
性質区分	<input type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理					
根拠法令等	学校教育法、学校保健法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律					
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input type="checkbox"/> 補助					

## 【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	西明寺中学校の生徒が安全で安心な教育が受けられる環境を整備する。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	生徒の安全・安心な教育環境を整備する。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	西明寺中学校のグラウンドは狭隘で水はけも悪く、体育の授業及び部活動にも支障をきたしていることから、旧西木村で地域の総合グラウンド予定地として取得した敷地に野球場を整備する。(平成21年度:実施設計、平成22年度:整備工事)

## 【事務事業の推移】

		項 目	単 位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	
効果	活動指標	生徒数	目標	人		91	
			実績	人		91	
			達成度	%		100.0%	
	成果指標	事業費/生徒数	目標	千円		60	
			実績	千円		60	
			達成度	%		100.0%	
投下コスト	項 目		総事業費	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	21年度決算額(千円)	
	事業費(人件費を除く)(A)					5,425	
	人 件 費 (B)					4,029	
	職 員 数					0.50	
	職 員 平 均 人 件 費					8,057	
	(A) + (B) 投下コスト					9,454	
	財源内訳	国 庫 支 出 金					0
		県 支 出 金					0
		地 方 債					0
		そ の 他					0
一 般 財 源					9,454		
単 位 コ ス ト	活動指標1単位当たりコスト(円)					103,890	
	市民1人当たりのコスト(円)					309	

【事務事業の今までの成果】

学校施設が安全、正常に機能するよう維持管理を実施しており、事故等は発生していない。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	学校施設の改善に努めている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	生徒が一日の大半を過ごす教育の場として、安全・安心な学校を望んでいる。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続（実施）	学校施設の維持管理、整備は生徒の安全な教育環境を維持する上で必要不可欠であることからAと判断した。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

--

【二次評価】

判定	判定に至った理由
A	安全で安心な教育環境の整備のため、引き続き推進すべきと考えます。

